

工学研究科 電子情報通信工学専攻 博士前期課程

【教育研究上の目的】

電子情報通信工学専攻は、高度情報化社会の進展に伴い、電気関連産業における中心が、電子・情報・通信工学を融合させたものへと変遷を遂げる中で、電子・情報・通信分野の研究開発を通じて、ユビキタス情報化社会、高度情報化社会の未来を切り拓く能力を自ら修得できる人材育成を教育研究上の目的とします。

【教育目標】

電子情報通信工学専攻では、教育研究上の目的を達成するため、以下の 3 点を教育目標とします。

- ①電子・情報・通信 3 分野において、それぞれの専門分野と関連する分野において幅広い専門知識と問題解決に柔軟に対応できる高度な技術者の育成
- ②それぞれの専門分野を体系的に理解することに加え、これらの分野を融合したバランスのとれた知識の涵養
- ③高度な技術者としてのグローバルな視点と高い倫理観を育成するために自らの研究成果を積極的に対外的に発表し、自らが考え、探究できる人材の育成

【ディプロマ・ポリシー】

電子情報通信工学専攻は、高度情報化社会の進展に伴い、電子・情報・通信分野の研究開発を通じて、ユビキタス情報化社会、高度情報化社会の未来を切り拓く能力を身につけた学生に対して、所定の単位を修得し、学会発表や学術誌への論文掲載等を経験し、修士論文の専門知識に裏付けられた新規性・独創性の有無や関連の学術文献による調査などの審査および修士論文発表会での口頭試問を行い、以下の項目に挙げる能力を身につけた学生に対して修士（工学）の学位を授与します。

- (1)電子・情報・通信分野に関わる専門領域の高度な知識や技術を体系的に修得していること。
- (2)専門領域における研究課題を理解し、グローバルな視点と高い倫理観を有していること。
- (3)自らの研究成果を積極的に対外的に発表し、自らが考え、探究ができること。

【カリキュラム・ポリシー】

電子情報通信工学専攻では、電子・情報・通信 3 分野の先端技術にアプローチできるカリキュラムを編成すると共に、それらを有機的に結びつけた異なる領域の高度な専門知識も修得できる研究指導を行います。このため共通演習科目を設け、グローバルな研究に対応するための英語文献の調査、プレゼンテーション能力向上を目的として各自の専門研究の進捗を学会形式で発表する機会を与えています。これらのアクティブラーニングを通じて電子・情報・通信 3 分野の先端技術における問題解決力の育成を図ります。

【アドミッション・ポリシー】

電子情報通信工学専攻では、電子・情報・通信 3 分野における多様な科学技術を利用した高度情報化社会に、柔軟に対応できる高度な技術者の育成を目指しています。その教育にあたり、本専攻では、以下のような学生を求めます。

【求める学生像】

- (1)電子情報分野と情報通信分野の技術者としての役割を理解し、社会に貢献できる能力を持っている。
- (2)電子工学、情報工学、通信工学などの専門分野における内容を理解し、知識を習得している。
- (3)実験・実習を通して、電子情報分野・情報通信分野の実学的な知識を習得している。
- (4)論理的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など技術者として必要な能力を身につけている。

入学者選抜においては、下記に示す入学者選抜方法で厳正に実施します。

【入学者選抜方法】

(1)一般入試

個別学力検査

(2)推薦入試（大阪産業大学の卒業見込み者）

各専攻の定めた推薦基準を満たしている者に対して、志望動機書、推薦書及び面接により総合的に選考する。